

企業の出勤状況調査（2024年6月分）

<アンケート結果総括>

■ 集計結果概要

- ・約7割の企業がテレワークを実施、約6割の企業が時差出勤を実施している
- ・2月以降新たに取組を実施した企業は少ないが、約半数が引き続き取組を行っている

- 以前から引き続き、多くの企業の皆様には、テレワークや時差出勤を始めとする スムーズビズ の取組にご協力いただいています。
- テレワークや時差通勤を始めとするスムーズビズ の取組は、通勤ラッシュの回避や新しいワークスタイルの実現に新型コロナウイルス感染症の再拡大防止にも役立ちます。引き続き、スムーズビズ にご協力をお願いします。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

引き続き、定期的に調査を行い、登録企業の皆さまの取組状況把握に努め、都の取組検討に活用してまいります。
今後とも、アンケートへのご協力をお願いいたします。

企業の出勤状況調査（2024年6月分）

<実施概要>

■対象：48,012社

（スムーズBiz・時差Biz及び2020TDM推進プロジェクト登録企業、スムーズBiz実践期間の事後アンケート回答企業）

■質問項目

Q1:4月の取り組み内容

Q2:2024年2月から取組規模の変化

Q3:テレワークと時差出勤について

Q4:従業員の出勤割合

Q5:従業員の出勤時刻

Q6:今後の出勤に対する見通し

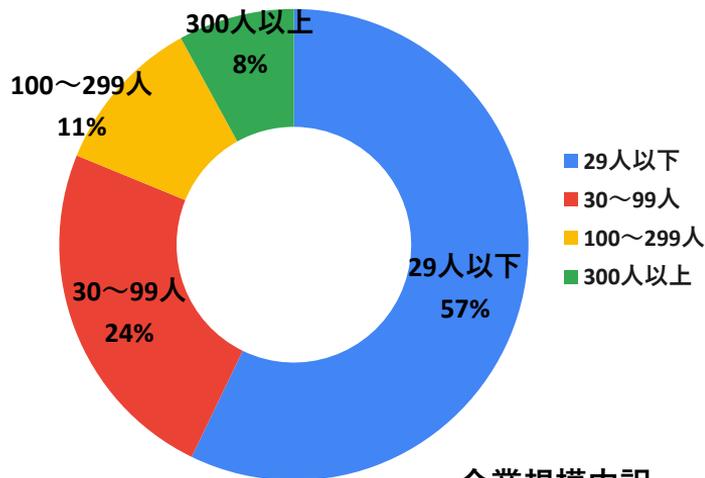
Q7:オフピーク通勤の取組について

Q8:アプリ利用状況

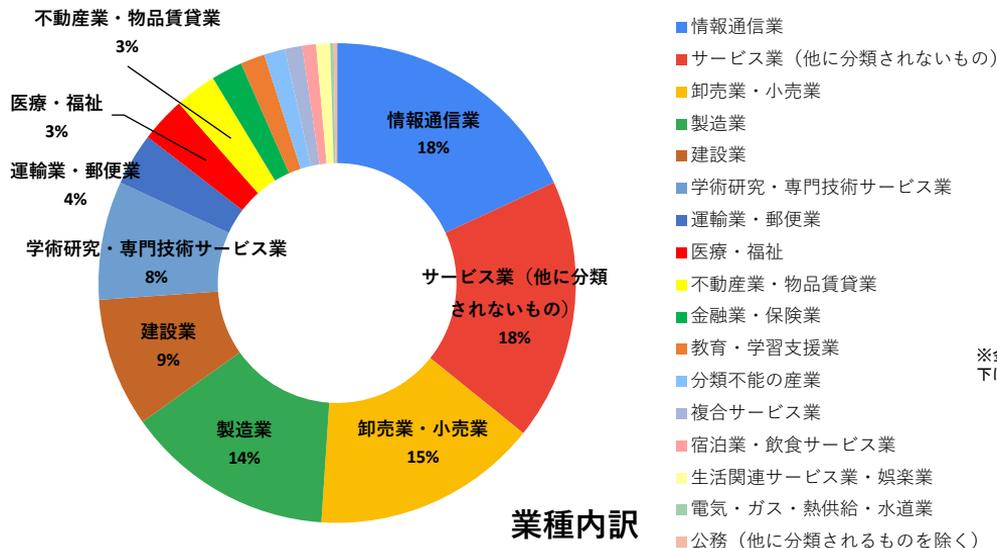
Q9:物流の2024年問題について

■総回答企業数：425社

■実施期間：2024年6月20日(木)～7月12日(金)



企業規模内訳



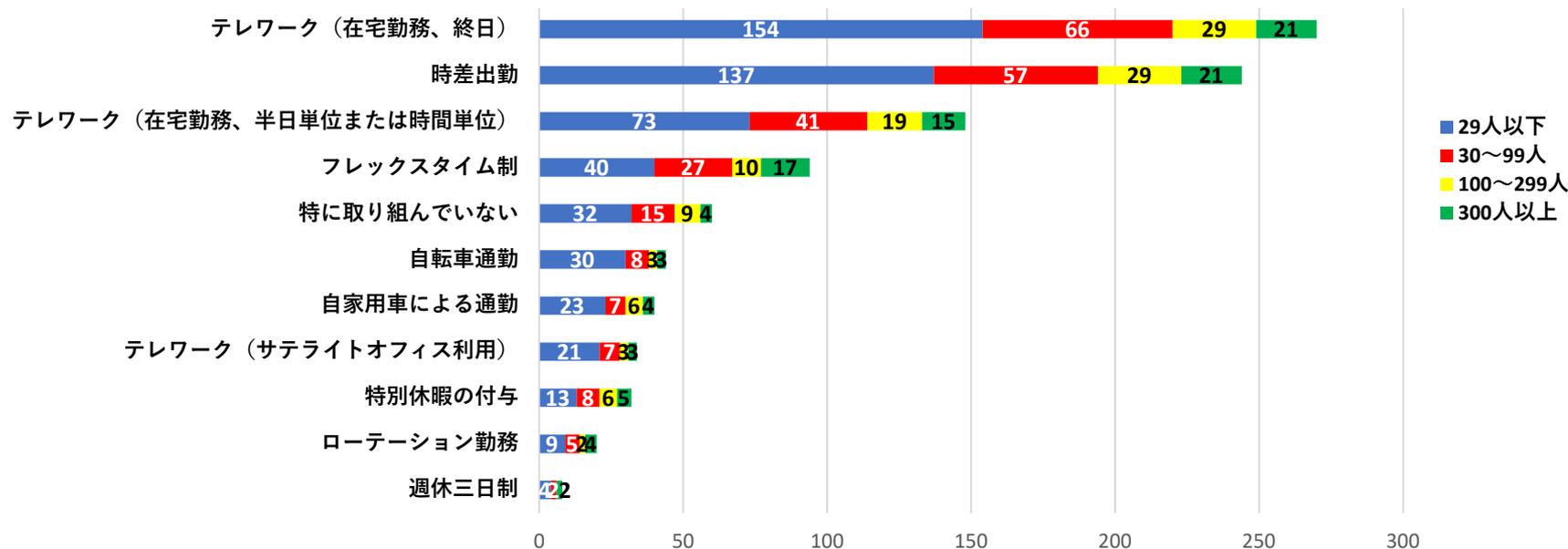
業種内訳

※金融業・保険業より下は3%未満

Q1:4月の取り組み内容

4月に回答企業が実施した取組内容内訳（複数回答可）

- ・約45%の企業がテレワーク実施、約25%の企業が時差出勤を実施している
- ・その他にも自転車通勤やフレックスタイム制やローテーション勤務等各企業が状況を工夫しているのがわかる

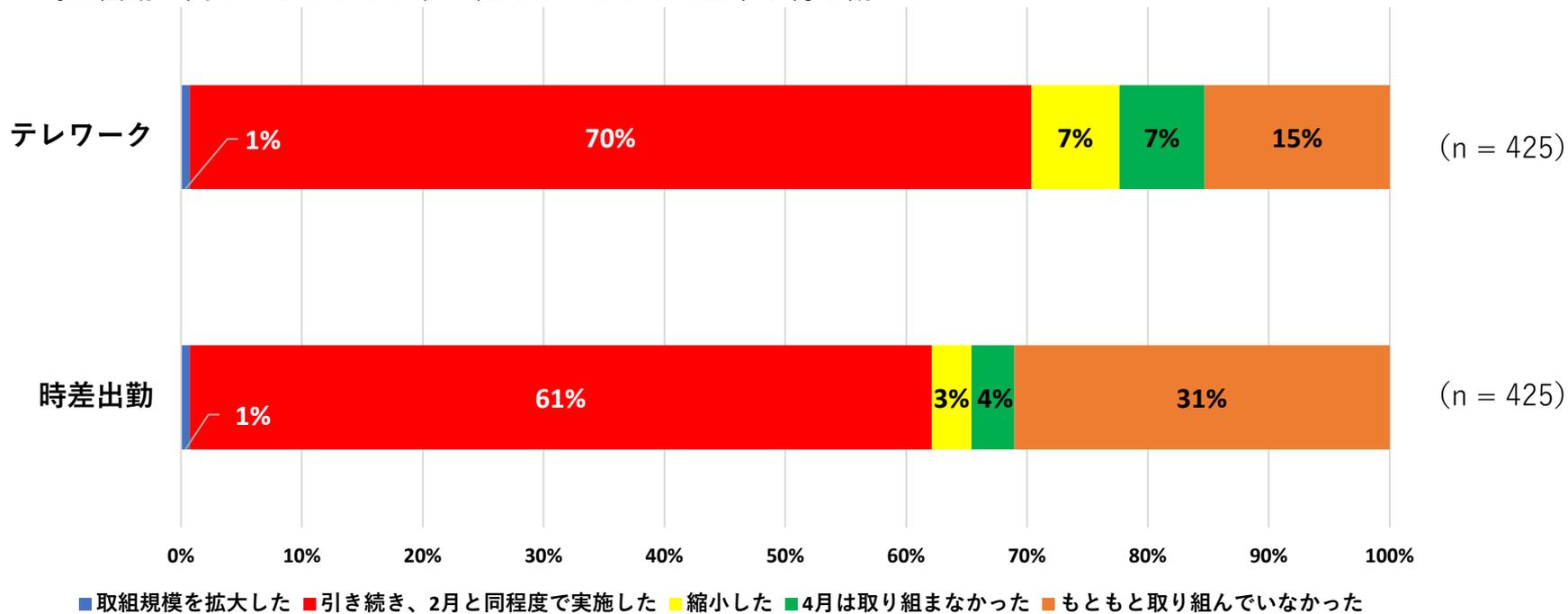


取り組み内容と企業規模の内訳（n=994 / 複数回答）

Q2:2024年2月からの取組規模の変化

2024年2月と比較したテレワーク・時差出勤の取組規模の変化

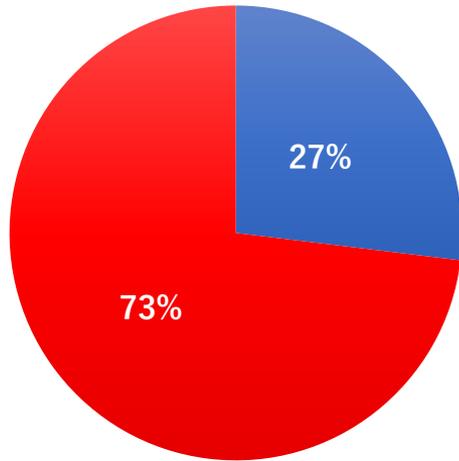
- ・2月以降新たに取組を実施した企業は少ないが、テレワークについては7割の企業が、時差出勤については約6割の企業が引き続き取り組みを行っている
- ・時差出勤に関してはもともと取り組んでいなかった企業が約3割ある



Q3-1,2: 「テレワーク」「時差出勤」を実施しない理由

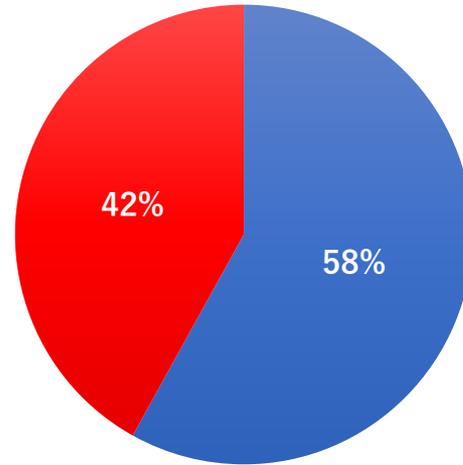
Q1において、「テレワーク」「時差出勤」を選択しなかった企業の状況

- ・テレワークについて、以前は実施していた企業が約7割
- ・時差出勤について、以前は実施していた企業が約6割



■ これまでも実施したことはない ■ 以前、テレワークを実施したことはある

テレワーク (n = 130)



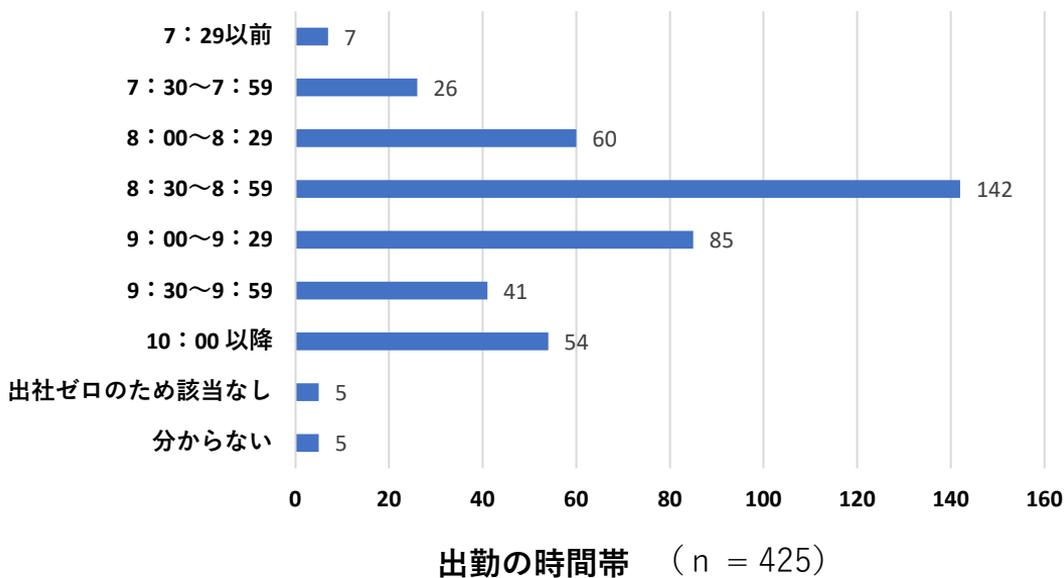
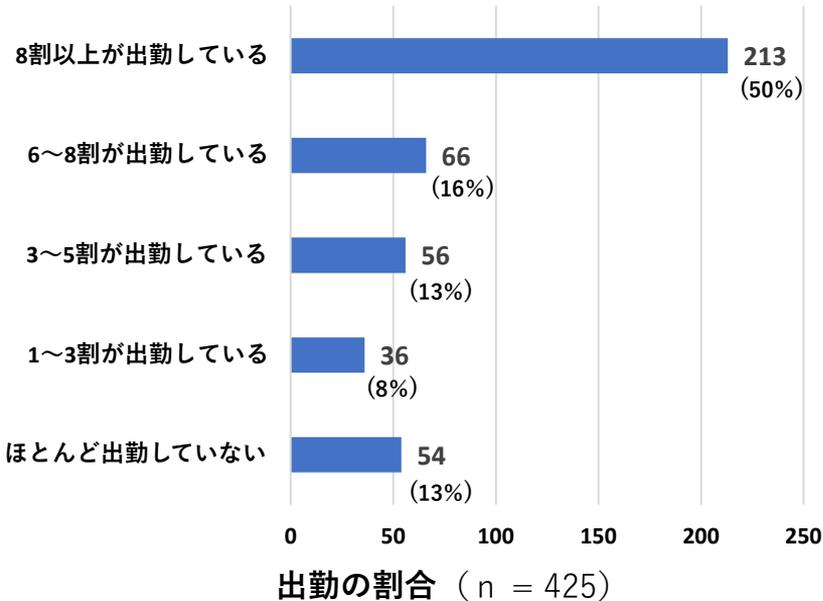
■ これまでも実施したことはない ■ 以前、時差出勤を実施したことはある

時差出勤 (n = 155)

Q4,5:従業員の出勤割合と時間帯

2024年6月の従業員の出勤割合とその時間帯

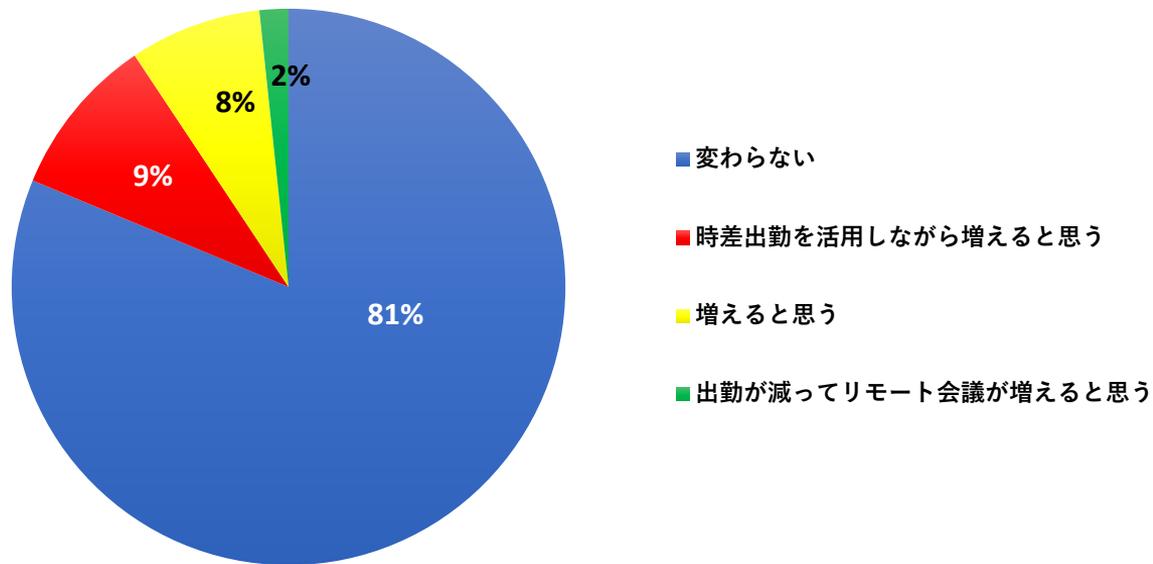
- ・約半数の企業が8割以上出勤していると回答
- ・一方で約1割の企業はほとんど出勤していないと回答
- ・出勤の時間帯としては8:30～8:59が一番多く、依然として通勤時間ピーク帯に出勤する企業が最も多い傾向は変わっていない



Q6:今後の出勤に関する取組の予定

テレワーク、時差出勤等の取組の見通し

・今後も変わらないと回答した企業が約8割

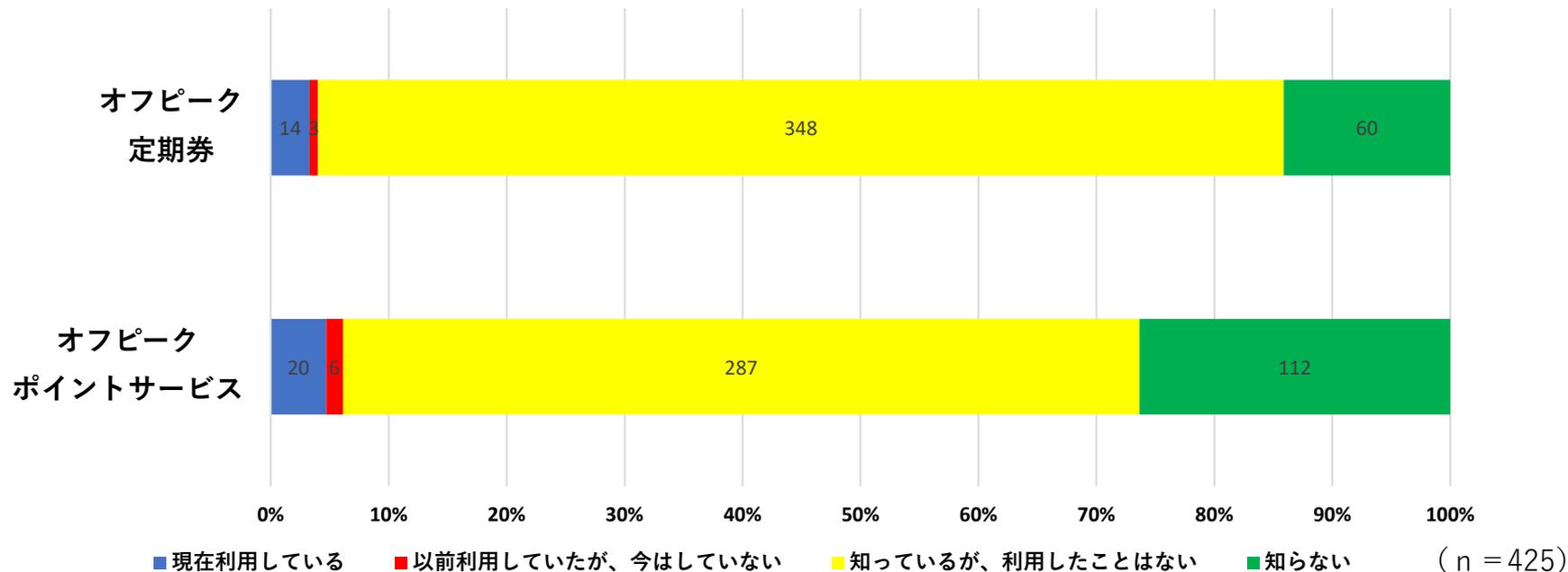


今後の出勤に関する取組の予定 (n = 416)

Q7:オフピーク通勤の取組状況

オフピーク定期券

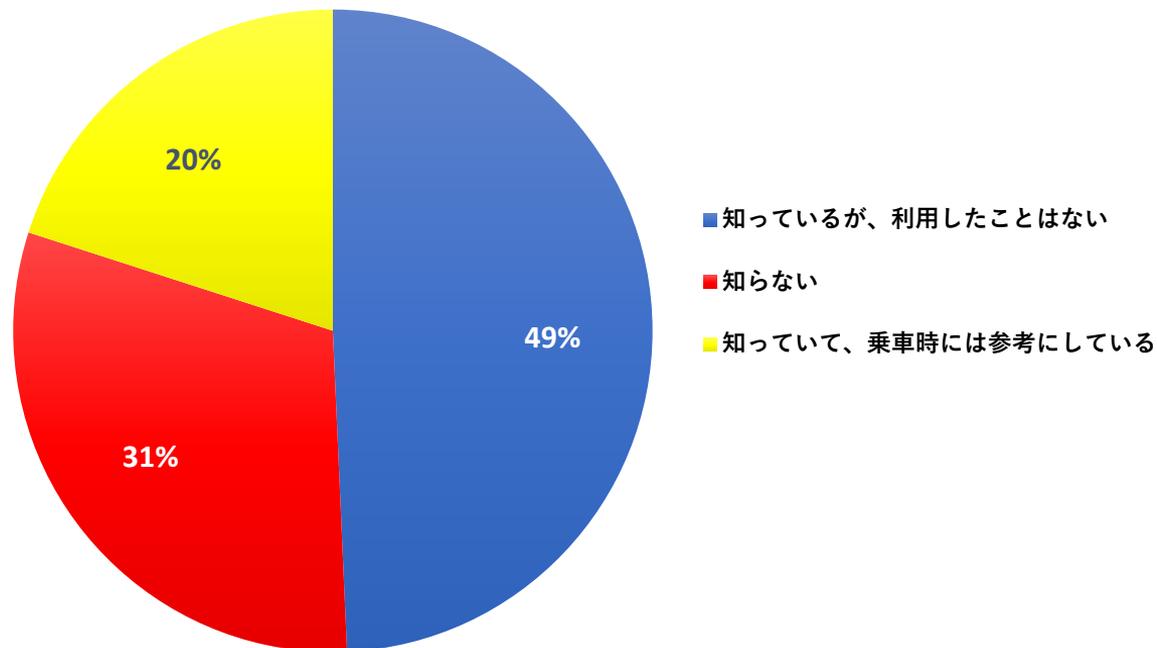
- ・オフピーク定期券を知っているが利用したことはないが約8割
- ・オフピークポイントサービスを知っているが利用したことはないが約7割
- ・どちらも知っているが利用したことはないが多い



Q8-1:混雑状況情報提供アプリについて

アプリの利用状況

- ・知っているが利用したことがないが約5割
- ・知っているが参考にしているは2割

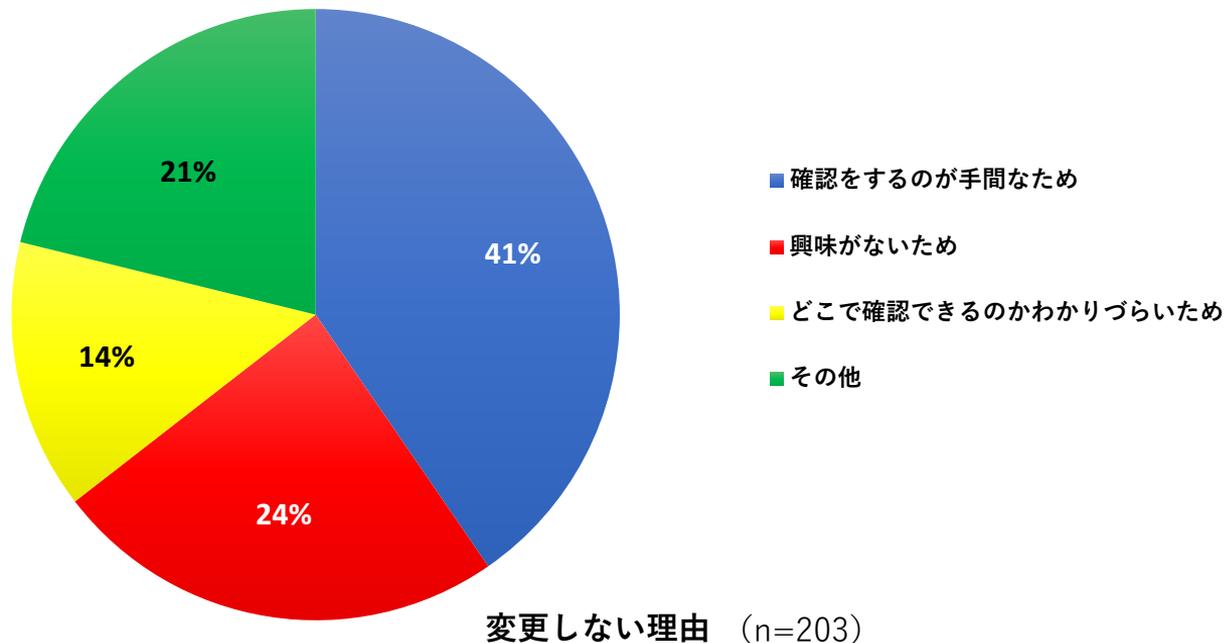


アプリ利用状況 (n=94)

Q8-2:混雑状況情報提供アプリについて

「知っているが、利用したことはない」を選択した企業の理由

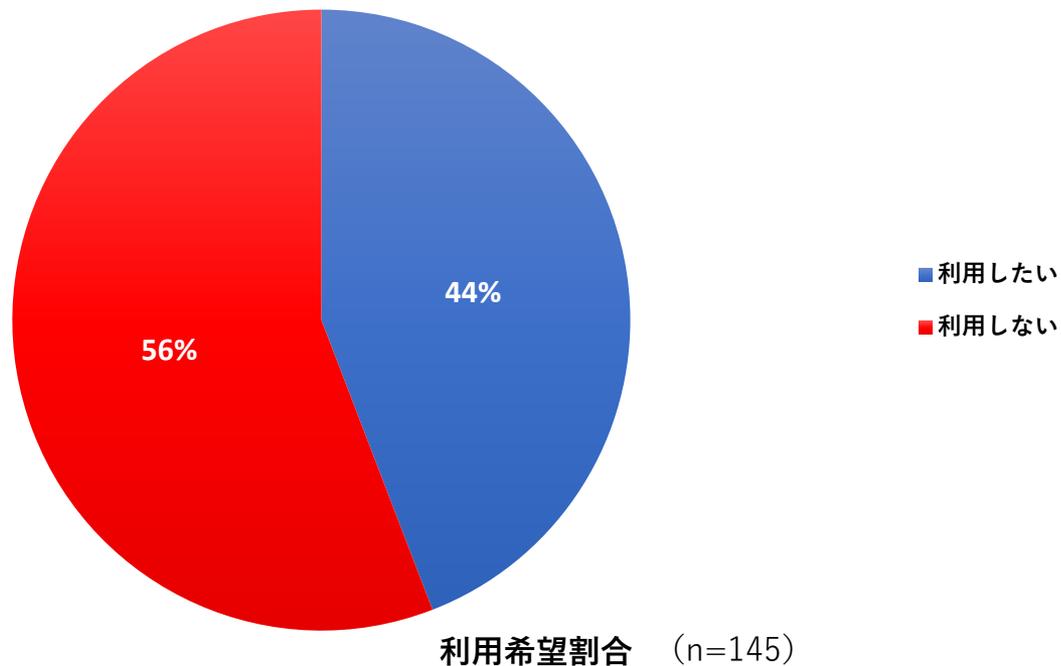
- ・確認をするのが手間が多かった



Q8-3-1:混雑状況情報提供アプリについて

アプリについて「知らない」と答えた企業に今後の利用の意思を訪ねた

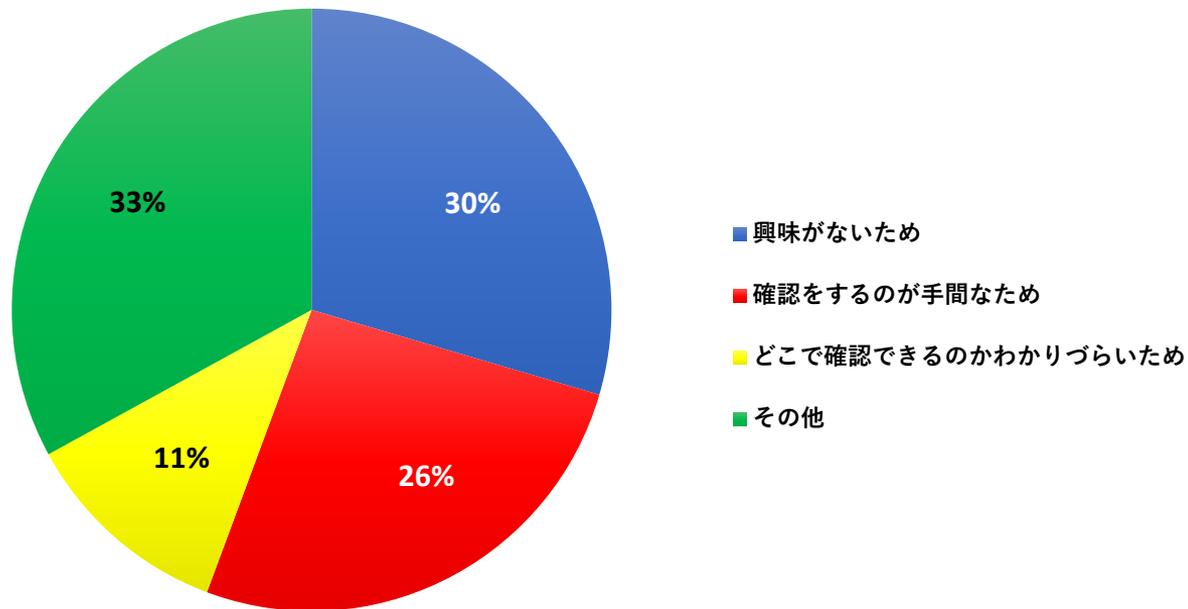
・約4割が利用したいと回答した



Q8-3-2:混雑状況情報提供アプリについて

アプリを使用しない理由

- ・アプリを使用しない理由として興味がない、確認するのが手間以外に利用者から様々な理由があげられた

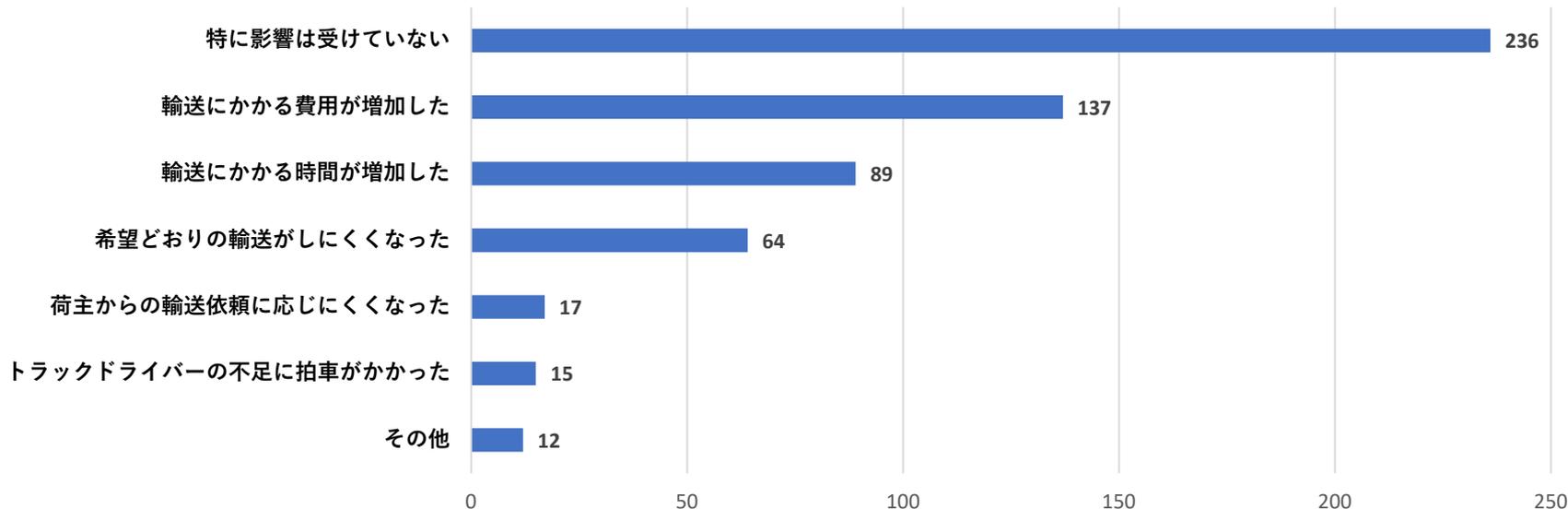


利用希望割合 (n=88)

Q9:物流の2024年問題 企業への影響

物流の2024年問題が企業に与えている影響

- ・特に影響は受けていないが総回答の約4割
- ・影響としては輸送にかかる費用が増加したが最多だった。

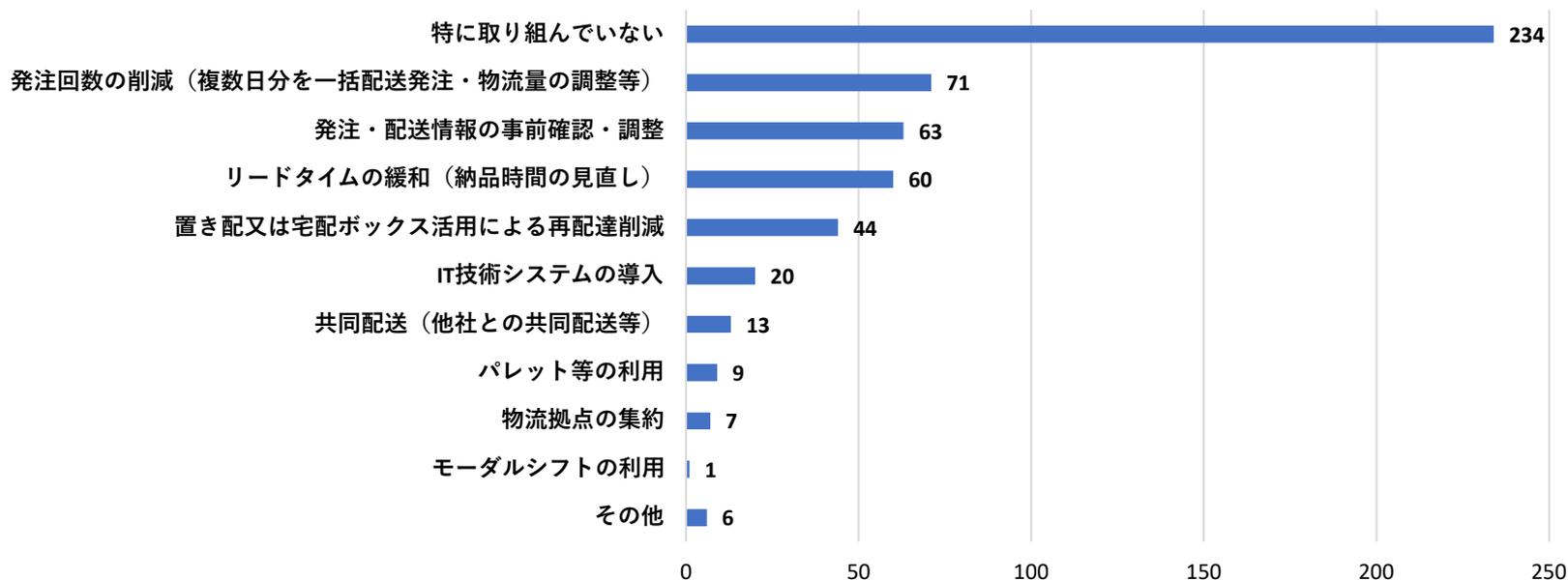


企業への影響 (n=570/複数回答可)

Q9-2:物流の効率化に資する取組

以前から継続的に実施しているあるいは新たに実施した取組

- ・特に取り組んでいないが最も多かった
- ・発注日数の削減、リードタイムの緩和、発注・配送情報の事前確認・調整が上位回答



物流の効率化に資する取組 (n=528/複数回答可)